

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、9月定例会では18名の議員が一般質問を行いました。ここでは広報委員会が抜粋し、事項別に整理した一部の内容を掲載しています。

一般質問の全文は、12月上旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

- 前川 綾子……「鎌倉地域の漁港について」「子どもが育つ環境の整備について」
- 納所 輝次……「通学路の安全対策について」
- 石川 敦子……「若者の就労支援と生活保護における課題について」
- 渡邊昌一郎……「着地型観光商品企画事業から露呈した旅行会社との契約の疑義及び行政改革の必要性について」
- 西岡 幸子……「生活保護行政について」
- 岡田 和則……「鎌倉市の人口の推移とそれに付随する諸問題について」「鎌倉市の財政について」
- 吉岡 和江……「神奈川臨調（県緊急財政対策本部調査会）との関連で福祉・くらし・市民生活を守る市政について」
- 久坂く にえ……「空き家対策を中心とした住宅政策について」
- 中澤 克之……「防災等について」「子ども達の環境等について」「市長の政治姿勢等について」
- 千 一……「障害者の農業・漁業への参加について」「介護報酬について」「介護政策について」「受けられる権利のあるサービスを受けさせなかった行政にもペナルティーを」
- 赤松 正博……「鎌倉の歴史と文化を生かしたまちづくりについて」
- 石川 寿美……「市長の政治姿勢について」「エネルギー政策」
- 山田 直人……「新鎌倉行政経営戦略プラン」
- 渡辺 隆……「鎌倉市のスポーツ振興について」「学校教育について」
- 飯野 眞毅……「まちづくりと道路行政について（埋設物含む）」「行財政改革について」「防災について」
- 高橋 浩司……「市民満足度を柱にした市政運営と市長の政治姿勢について」
- 松中 健治……「市長の政治姿勢」「地震・津波等災害対策」
- 小田嶋敏浩……「健康づくりにおける食育について」

子どもたちの環境

本市における子どもたちの環境について、次のような視点から質問が行われました。

【学校教育】

質問：本市は小中連携という形で学校教育を考えていくという話であったと思うが、小中一貫教育の進捗状況について聞きたい。

教育部長：今年度、鎌倉市教育課程編成の新策定委員会で、指導計画例などを取り入れた方針の作成を始めたところであり、来年度は小中一貫教育検討委員会の方で、推進校の検討を行っている予定である。

【いじめの問題】

質問：いじめの事例が、隠れた事象がはじめに結びつくという認識を持ち、情報共有が必要だと思うが、どのように実態把握をしているのか。

教育部長：児童・生徒からは、教育相談や、個別面談で直接話をすることや、生活アンケート等を通じて、様子を把握している。また、保護者からは、面談や学級懇談会などで話を聞き状況を把握している。そういった内容を、職員会議やケース会議などで情報共有して対応を検討している。

質問：いじめの事件報道を見ると、教育委員会の構造的な問題があると思われるが、本市はどのような体制で取り組んでいるのか。

同部長：いじめの事象があった場合は、児童・生徒の指導担当や教育相談コーディネーター（※）を中心としたチームによって指導する体制を取っている。また、教育委員会としては、学校の状況把握に努め、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、相談員との連携を図るといった体制づくりに努めている。

質問：いじめ対策プログラムを市として作るというところを聞いたが、いじめの予防に向けてはどのような取り組みを行っているのか。

同部長：まず、子どもたちからの情報の把握が大切だと考え、相談しやすい体制づくりに努めるとともに、学校の状況に応じて、問題行動等についての対応や改善点を話し合うグループ討議を行っている。また、教員の研修も重要と考えており、児童・生徒の様々な課題を取り上げて、問題意識を持って取り組むよう、研修会を実施している。

質問：今年、通学途中の児童たちを巻き込む痛ましい交通事故が多発している。歩行者優先の交通体系の理念を徹底しなければならぬと考えるが、本市はこれを受けてどのような対応をしたのか。

教育部長：小・中学校に対して、通学路の安全確認の再点検を行うよう要請した。また、通学路の安全確保を図るよう児童・生徒に注意喚起し、学校、保護者、地域の方々の協力によって、より一層の交通安全を図るよう依頼を行った。

質問：交通安全教育を効果的に促進していくことが重要だと考えるが、実施の狙いはどのようなところにあるのか聞きたい。

同部長：実施の狙いとしては、①命の大切さや交通事故の怖さを知ること②他人を思いやる優しさやマナーやルールを守って行動すること③発達に依りて実践的な知識と技能を習得すること④危険を予測し回避する意識・能力を身に付けることである。これらを踏まえ、発達の段階に応じた交通安全教育を行っている。

質問：生活保護の扶養義務は不足していることではないか。

同部長：生活保護開始時点で収入の申告については、しっかりと指導を行うとともに、申告に関する注意点をまとめたリーフレットや福祉だよりを被保護者

質問：生活保護の扶養義務は不足していることではないか。

同部長：生活保護の扶養義務は扶養が保護条件になっていないが、扶養義務を厳しくする動きがあり、扶養を徹底調査することにより、生活保護が利用しにくくなると思うがどう考えるか。

同部長：具体的な支援の進捗状況を把握し、必要に応じて担任等に助言する。

④一定期間後、取り組みの評価をして、その後の取り組みを検討する。

⑤「かまくら食育カレッジ」が実施する食と食育に関する講座の総称。

食への興味・関心を持ってもらうことを目的とした、健康・鎌倉・環境・教養の4学科と、地域で食育を広める担い手である「かまくら食育クラブ員」の養成を目的とした育成学科の合計5つの学科がある。

用語の解説

※印の用語について解説します。

教育相談コーディネーター
各学校で児童・生徒への支援に取り組む際に、課題解決に向けた推進役となる教員のことで次の役割を担う。

①担任、保護者、児童・生徒からの相談を受ける。

②校内委員会を開催し、児童・生徒指導に関わる教職員間の情報共有を図る。

③対応を協議し、支援計画作成時のリーダーとなる。

生活保護と自立支援

本市における生活保護と自立支援について、次のような視点から質問が行われました。

質問：本市における生活保護の不正受給の件数とその理由は何か。

健康福祉部長：平成20年度は15件で稼働収入の無申告または過少申告9件、保険の解約金等の無申告6件、21年度が8件で、稼働収入の無申告5件、年金収入等の無申告3件、22年度が4件で、稼働収入の無申告3件、自賠責保険の無申告1件、23年度は不正受給がなかった。

質問：生活保護の扶養義務は不足していることではないか。

同部長：生活保護開始時点で収入の申告については、しっかりと指導を行うとともに、申告に関する注意点をまとめたリーフレットや福祉だよりを被保護者に配布している。

質問：生活保護の扶養義務は不足していることではないか。

同部長：生活保護の扶養義務は扶養が保護条件になっていないが、扶養義務を厳しくする動きがあり、扶養を徹底調査することにより、生活保護が利用しにくくなると思うがどう考えるか。

同部長：具体的な支援の進捗状況を把握し、必要に応じて担任等に助言する。

④一定期間後、取り組みの評価をして、その後の取り組みを検討する。

⑤「かまくら食育カレッジ」が実施する食と食育に関する講座の総称。

食への興味・関心を持ってもらうことを目的とした、健康・鎌倉・環境・教養の4学科と、地域で食育を広める担い手である「かまくら食育クラブ員」の養成を目的とした育成学科の合計5つの学科がある。

自立支援

質問：子ども・若者育成プランを策定した背景と目的を伺いたい。

同部長：子ども・若者育成プランは、若者育成支援推進法制定以前から青少年の育成プランを検討してきた。困難を抱える青少年に対する支援も含めて広く青少年の育成を図ることを目的としている。

質問：若者支援の必要性について市長はどう考えるか。

市長：昨今の不登校、ひきこもりとニートという社会現象に見られるように、若者が生きる力、目標を見失いがちな状況であると認識しており、そこを克服していくためこの支援が必要であると考えている。

質問：子ども・若者育成プランの理念は自立に向けての支援であると認識していると思うがどうか。

市長：若者が自立に向けて取り組んでいくこと、また、それを地域ぐるみで取り組んで目指していくことが大変重要であると認識している。

質問：労働施策としての就労支援と若者就労支援の制度について伺いたい。

市民活動部長：就労支援として湘南・横浜若者サポートステーション（以下「サポートステーション」という）が面接相談、各種セミナー、職場見学や就労体験、保護者向けのセミナーを実施している。また、若者就労支援として、求職力アップセミナーや雇用対策セミナーなどを実施している。

質問：サポートステーションの運営費を本市としても予算措置をして安定的な運営ができるようにするべきと思うがどうか。

同部長：このサポートステーションの事業対象地域である関係市と協議して積極的にサポートステーションと連携する方法を模索している。

本会議・委員会映像公開中です！



鎌倉市議会では、本会議及び各常任委員会等について生中継を行っています。（録画映像も見ることができます。）

議員有志で調査研究活動を行っている「政策法務研究会」の研究活動内容も紹介しています。

鎌倉市議会ホームページはこちら！
<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.html>

または、[鎌倉市議会](#)